

「産学連携による 情報セキュリティ人材育成」 にむけて

東京大学 大学院 情報理工学系研究科 教授
産学情報セキュリティ人材育成検討会 座長
江崎 浩



情報通信技術は、グローバルスケールにかつユビキタスに普及し、すべての社会・産業活動を支えるミッションクリティカルな基盤技術としての役割を果たさなければならなくなりました。その一方で、情報通信システムがすべての人に容易に、かつストレスなく簡単に利用できるようになったため、セキュリティを意識することなく、また、安全性への思慮が不足したまま、情報通信システムの研究開発や利用が増加し続けています。我々は、安全性を持った社会・産業基盤の提供を可能とするための研究開発やシステムの運用を実現するに資する人材の育成と確保を行うことが、次世代の社会への責任と認識しなければなりません。残念ながら、我が国の情報通信基盤の整備と発展を支えるべき人材の供給は、その質と量の両面において需要を大きく下回っている状況であると言わざるを得ない状況にあります。

この、我が国の社会・産業活動の継続と発展・成長に必須となる、セキュリティ人材の育成に、JNSAが貢献できることを検討し、実現することを目指して、平成24年2月に、産業界および教育機関の有識者から構成される「産学情報セキュリティ人材育成検討会」を発足し、情報セキュリティ人材育成のための産学協同スキームを検討してきました。基本的には、官に頼らず、産学の連携・共同による継続性を持った活動です。さまざまな問題・課題を議論・整理し、JNSAが自身の力で実現・推進可能なこととして、まず、「JNSAインターンシップ」を起動することにしました。

JNSA産学情報セキュリティ人材育成検討会(以下、「検討会」という)が支援するインターンシップ(以下、「JNSAインターンシップ」という)は、将来情報セキュリティ技術を活かして活躍したいと考えている学生に対して、情報セキュリティ業界の魅力を感じてもらえるような就労機会の提供を目的としています。JNSAは、本インターンシップを通じて業界の知名度を向上させ、セキュリティ業界を活性化させることを目指しています。情報セキュリティ業界の魅力を感じてもらえるような就労機会を提供するとともに、インターンシップを通じて業界の知名度を向上させ、セキュリティ業界を目指す学生を増やし、セキュリティ業界を活性化させ、ひいては、我が国の社会・産業へ貢献することを目指します。

JNSA会員各位のご理解とご高配、さらにご参画とご貢献をお願い申し上げます。